中期計画(案)の修正要旨

1. 中期計画(案)の内容を体系分類化

- 方針(理念)
- 経営改善
- 新病院に向けた目標

2. 中期計画(案)の目標及び関連指標の体系分類化

- 診療機能 ⇒ 診療機能の拡充等をめざした指標
- 患者満足 ⇒ 患者満足度の向上をめざした指標 (受診したい病院など)
- 職員満足 ⇒ 職員満足度の向上をめざした指標 (働きたい病院など)
- 病院経営 ⇒ 経営基盤の向上をめざした指標
- 行政効果 ⇒ 市の施策等へ寄与することをめざした指標

3. 目標指標・関連指標の見直し

(1) 目標指標の追加

分類	追加理由	目標指標名
第2-2 高度専門医療の提供	地域医療機関との連携強化	がん診療地域連携クリニカルパス連携医(診療所)数
第2-5 地域医療への貢献	市民への啓発への取組強化	市民・患者向け公開講座等参加延人数
第4-1 経常収支の黒字の達成	経営改善効果の明確化	医療収支比率 (平成22年度基準で算定)
		経常収支比率 (平成22年度基準で算定)
		運営費交付金(繰入金)比率 (平成22年度基準で算定)
第4-2 収入の確保と費用の節減	未収金管理の強化	個人未収金に係る過年度分徴収率
	経費節減への取組み強化	材料費実額
		経費実額
		職員給与費実額
労務費実額		
第5-2 環境にやさしい病院づくり	地球温暖化への取組みを強化	エネルギー使用量(原油換算)削減率

(2) 関連指標から目標指標へ変更

分類	変更理由	目標指標名
第2-1 市立病院として担うべき医療	断らない救急の取組みを明確化	救急搬送応需率
第2-2 高度専門医療の提供	職員の研究活動の推進	治験受託件数
		治験受託金額
第2-4 患者・市民サービスの向上	患者満足度の向上	患者満足度調査・入院
		患者満足度調査・外来
第2-5 地域医療への貢献	市民への啓発への取組強化	市民・患者向け公開講座等開催回数
第4-2 収入の確保と費用の節減	未収金管理の強化	個人未収金に係る現年度分徴収率

(3) 関連指標の追加

分類	追加理由	関連指標名
第2-1 市立病院として担うべき医療	救急医療体制の向上	循環器疾患救急患者市内カバー率
		消化管出血救急患者市内カバー率
第2-2 高度専門医療の提供	検診など予防活動の拡充	がん検診総件数
	低侵襲な治療の推進	鏡視下手術施行件数
	高度専門的な医療提供の推進	セカンドオピニオン実施件数
第3-2 優れた医療スタッフの確保	教育研修活動の充実	論文掲載件数(うち外国語)
		学会研究会報告・学術講演数(うち外国語)

4. 目標指標の達成に向けた具体的な取組み

区分	具体的取組
診療機能	<ul style="list-style-type: none"> ・外傷系や小児科の救急医療体制の拡充、さらにはがん専門医や麻酔科医の確保を行うため、関連大学への訪問など緊密な連携体制を構築する。 ・地域における救急医療の核となる病院をめざし、救急搬送入院患者の受け入れを拡大するため、ベッドコントロール体制の抜本的な見直しを行う。 ・可能な限り医療従事者には、医療の提供に専念させるため、さらなる医師事務補助者の配置などサポート体制の強化を行う。 ・新病院移転予定地である西区を中心として、地域の診療所への訪問など具体的な連携強化対策を行う。 ・治験管理室に選任薬剤師を配置するなど、CRC(治験コーディネータ)機能を拡充する。 ・クリカルパスの整備(新規設定を含む)を推進するとともに、管理体制の構築により、さらなる適用件数の拡大に取り組む。
患者満足	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師の病棟専従体制を確保し、患者への服薬指導を徹底するなど、よりきめ細やかな医療サービスを提供する。 ・クリカルパスの整備(新規設定を含む)を推進するとともに、管理体制の構築により、さらなる適用件数の拡大を図ることで、効率的かつ標準的な医療を提供する。 ・より良い療養環境を提供するため、患者アメニティ関連施設(デイルーム・トイレ等)の快適性を向上させる。 ・病棟内でパソコンが使用できる準個室の設置を検討し、より快適な入院治療環境の提供に努める。 ・診療等の待ち時間に対するストレスを緩和するため、診察の進捗状況表示や会計の待ち時間表示、会計自動支払い機の設置、診療時間が近づくと振動する携帯機器の導入、繁忙に応じた柔軟な人員配置などを行うとともに、医療や健康に対する書籍の配架など患者情報コーナーを充実させる。 ・患者の利便性を向上させるため、診療受付時間の前倒し変更、診療時間の見直しを行う。 ・土曜日における検査の実施、簡易個室の整備など、費用対効果を検証した上で、患者サービスの向上につながる施策への取組みを強化する。 ・各医療機関との適切な役割分担と緊密な連携のもとで、地域医療を効率的に提供していくため、診療所からの紹介や診療所への紹介(逆紹介)の促進をめざし、診療所紹介コーナーや、外来待合モニターでの診療所紹介のさらなる充実を図る。 ・市民公開講座等を通じて、最新医療に関する情報や、予防医療に関する情報を積極的に発信し、市民の健康維持等に関する啓発事業の拡充を行う。

区分	具体的取組
職員満足	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者から「働きたい病院」として評価を得るため、頑張った人が報われる人事給与制度の構築や短時間雇用などライフワークバランスに配慮した勤務環境の整備を行う。 ・職員のキャリアアップを図るための教育支援体制の整備を行う。(費用の一部助成、勤務時間の配慮など)
病院経営	<ul style="list-style-type: none"> ・治験管理室に選任薬剤師を配置するなど、CRC(治験コーディネータ)機能を拡充する。 ・クリカルパスの整備(新規設定を含む)を推進するとともに、管理体制の構築により、さらなる適用件数の拡大に取り組む。 ・現在、病床の有効利用ができていない、土・日・祝などの病床利用率を向上させるため、短期間入院となる教育入院や一泊手術などでの運用をめざして、体制の整備を行う。 ・平均在院日数の短く、患者ニーズの高い眼科や小児科の診療体制の強化に努め、病床のさらなる有効活用をめざす。 ・新病院において、整備する救命救急センターを最大限に活用するため、急性期を脱した患者を受け入れていただく、後送病院の確保をめざし、地域の医療機関への訪問を行う。 ・医師、看護師をはじめとした医療スタッフが行った医療サービスに対しては、適切な評価を得るため、該当する施設基準についてはすべて取得する。 ・病院の経営基盤を確立するには、高度で良質な医療を継続的に提供することが大切であり、そのためにも医療を担う医師、看護師を安定的な確保対策として、大学等の教育機関への訪問、職場体験制度の充実など、病院として最重要課題として取組みを行う。
行政効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公開講座等をつうじて、最新医療に関する情報や、予防医療に関する情報を積極的に発信し、市民の健康維持等に関する啓発事業の拡充を行う。 ・病院経営の健全化を推進し、経営基盤の強化にかかる運営費交付金を削減させる。